

学校だよりBIG TREASURE

# 大きな宝

児童数 548名

発行責任者 栗東市立大宝小学校

校長 坂東 靖記

発行日 令和6年1月9日

## 令和6(2024)年、明けましておめでとうございます

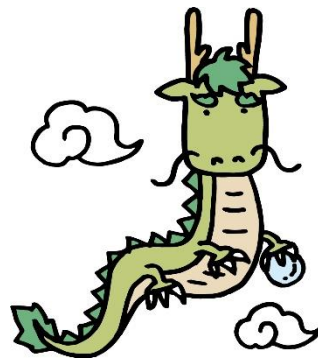
今年辰年。天に昇る龍のごとく、みんなで高まっていきたいですね。

さて、新しい年の学校生活がスタートするにあたり、今日は校内放送で全校児童に話をしました。

『だれもが いきいき ほのぼの うれしい 小学校』

子どもたちも知っていますし、保護者や地域の皆様もご存知だと思います。本校の学校教育目標です。駅からもよく見える校舎の屋上に看板が掲げられていて、子どもにも大人にも根付いている素晴らしい学校教育目標だと考えています。

今日、子どもたちに話したのは、この目標を更に具体化した『大宝小学校の目指す子ども像』です。



だれもが 楽しい学校（学級）を自分たちで創る子 【自治】

いきいき 学び合い 深める子 【探求】

ほのぼの お互いの持ち味を認め合う子 【共生】

うれしい 成長を実感し 自分を高める子 【自律】

それぞれについて、4月から12月までに見られた子どもの姿を紹介しながら、大宝小学校でどのような子に成長してほしいか、願いを伝えました。

実は、覚えやすいように、学校教育目標に準じる形の表現に昨年リニューアルし、教職員が意識しやすいように、それぞれに【自治・探求・共生・自律】というキーワードを付け加えました。特に「自律」については、他に頼らず独り立ちするという意味をもつ「自立」ではなく、自分で考えて自身をコントロールするという意味をもつ「自律」を目指すことを教職員で共有しています。（蛇足ですが、「自律」の対義語は、「他律」です。）

これらのキーワードについては、子どもたちには伝えていませんが、「だれもが いきいき ほのぼの うれしい 小学校」をみんなで創っていかうと呼びかけました。子ども一人ひとり、それぞれに持っているチカラが発揮できる場を、より多様に創っていきたいと考えています。そして、自分で考えて他者との関わりを通して自分自身を高めるチカラを育んでいきたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

学校評価へのご協力をいただき、ありがとうございました。これを生かし、次年度の構想を立てていきたくと思ひます。